

令和元年度 前期 授業評価

評価項目

- ① 「本時の目標」や「本時の要点」などについて、先生の説明が徹底している。
- ② 効果的なICTの活用やグループ活動など工夫された授業がおこなわれている。
- ③ 授業の中で主体的な活動や思考する時間が多いと感じる。
- ④ 授業を通じて、勉強への興味・関心が高まっている。
- ⑤ 私は授業の開始・終了時の挨拶をきちんとおこなっている。
- ⑥ 私は予習や復習をして授業に臨んでいる。
- ⑦ 集中力が持続する授業である。
- ⑧ 私は授業を通じて学力がついてきていると感じる。

A 非常によく当てはまる。

B ほぼ、当てはまる。

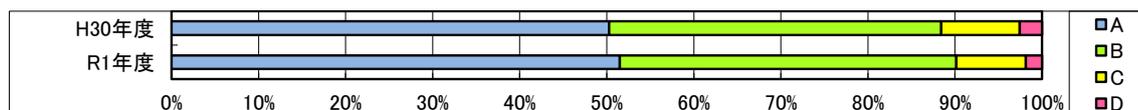
C あまり当てはまらない。

D 全く当てはまらない。

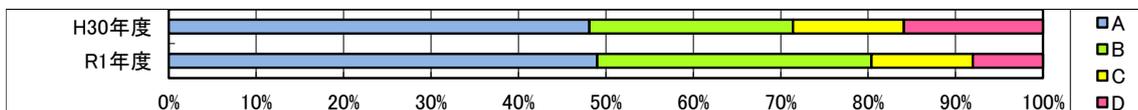
【分析】

「A:非常によく当てはまる」と「B:ほぼ、当てはまる」を合計した肯定的評価は概ね多い。特に②「効果的なICTの活用やグループ活動」について、AB評価が80%を超えており、取り組みの成果が表れている。その中で、⑥「予習・復習」は前年度から減少が続いている。家庭学習の意義を周知し、学習習慣の定着を促す必要がある。今後も、主体的で対話的な学びを深めることを目標に、一層の授業改善に取り組みたい。

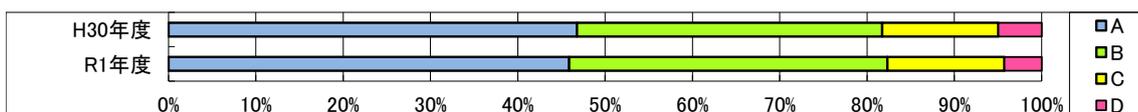
- ① 「本時の目標」や「本時の要点」などについて、先生の説明が徹底している。



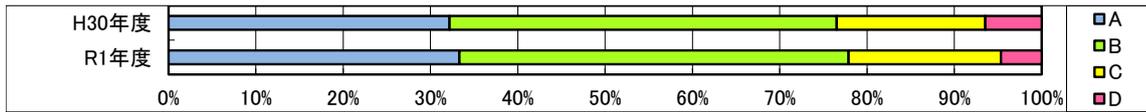
- ② 効果的なICTの活用やグループ活動など工夫された授業がおこなわれている。



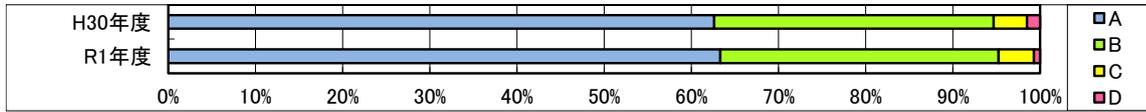
- ③ 授業の中で主体的な活動や思考する時間が多いと感じる。



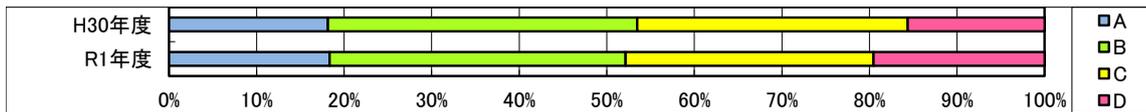
④ 授業を通じて、勉強への興味・関心が高まっている。



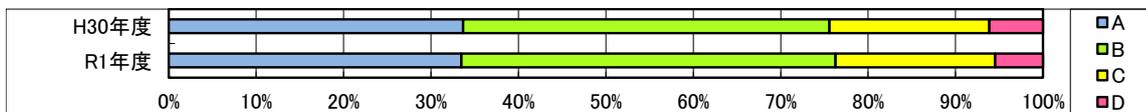
⑤ 私は授業の開始・終了時の挨拶をきちんとおこなっている。



⑥ 私は予習や復習をして授業に臨んでいる。



⑦ 集中力が持続する授業である。



⑧ 私は授業を通じて学力がついてきていると感じる。

